

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |              |     |        |              |
|----------------|--------------|-----|--------|--------------|
| ○事業所名          | 運動療育サトスポキッズ  |     |        |              |
| ○保護者評価実施期間     | 2025年 2月 28日 |     | ～      | 2025年 3月 31日 |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)       | 111 | (回答者数) | 90           |
| ○従業者評価実施期間     | 2025年 2月 28日 |     | ～      | 2025年 3月 31日 |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)       | 6   | (回答者数) | 6            |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2025年 4月 28日 |     |        |              |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                                 | さらに充実を図るための取組等                                                                    |
|---|-----------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------|
| 1 | 保護者に子どもたちの様子を実際に見てもらい、また支援者とのコミュニケーションを図るため、保護者同伴を実施している。 | ・見学中の保護者への声掛けや相談も積極的に行っている<br>・保護者の要望に応じた保護者会を開催している<br>・指導前後に保護者と利用児についての情報共有をしている<br>・保護者からの相談対応に電話等を活用している<br>・ペアレント・トレーニングを実施している | ・親子交流会及び父の会開催の検討                                                                  |
| 2 | ・子どもたちがやりたいことを選べる個別の運動療育を行っている。                           | ・本人のしたい活動を中心にプログラムを作成している。また本人の状態に応じて難易度や強度を変更している。<br>・種目カードやスケジュールを使い、自己選択、自己決定ができる環境設定を行っている。<br>・個々の特性を理解し、尊重しながら関わっている。          | ・理学療法士、作業療法士などより専門性の高い方にアドバイザーに入ってもらい、運動機能面の知識向上を行っている。<br>・研修を通して更なる特性理解の向上を目指す。 |
| 3 | ・他事業所や地域とのつながりを持つことで、子どもたちの社会参加に向けた取り組みを行っている。            | ・地域のイベントに参加したり、企画している。<br>・自立支援協議会の子ども部会、児童支援連絡会に積極的に参加している。<br>・地域の保護者会を支援している。<br>・SNS等での情報発信を行っている。                                | ・他事業所での取り組みや支援技術の吸収、拡張のための研修を検討する。<br>・他団体との交流をさらに深めていく。                          |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること                    | 事業所として考えている課題の要因等                            | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                                                |
|---|---------------------------------------------------------------|----------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------|
| 1 | ・ビルの一室を事業所として使用しているため、運動内容によっては狭さを感じる。                        | ・ビルの一室のため、改修等に限界がある。                         | ・運動内容によっては他の場所を借りる機会をさらに増やしていく。                                     |
| 2 | ・保護者に向けて各種マニュアルや活動内容等の周知が徹底できていない。                            | ・一方的な発信のため、認知にばらつきがある。                       | ・マニュアルに関しては掲示の仕方を工夫し、さらに見やすくしていく。<br>・活動内容の周知に関してはSNSを通してさらに発信していく。 |
| 3 | ・子どもの要望に合わせずると、種目が固定化してしまうこともあり、保護者から見ると同じ課題ばかりに感じてしまう可能性がある。 | ・指導員は意図して固定化している場面もあるが、保護者に意図を伝えられていないこともある。 | ・利用児の要望も聞きながら、利用児が課題とする運動機能面の向上を目指したアプローチを指導員から行っていく。               |